

# 原発事故と 健康被害を考える (仮)

— 放射線をあなどるな! 無知に恐れるな! —

国民の多くが不安のまなざしで中止している福島原発事故。大気や海水を通じて、全世界へとばらまかれた放射能による健康への被害を、どう考えたらいいのか — 放射線治療の専門医・西尾正道さんが語ります。



お話し **西尾 正道さん**

国立病院機構・北海道がんセンター院長  
放射線治療科医

「5月までの段階で福島の子ども達は既に30mSvに達している。このままだと、年末には累計50mSvの被曝量となる」そして「原発も収拾のメドが立ってない以上、これからも放射性物質は降って来る、だから、疎開させるべきだと思う」

(5月23日「BS プライムニュース」での発言から)

2011年 **7月30日** (土) 16:00~

札幌テレビ塔・ホール

参加費 500円

《第2部》 交流会

18:00~

同 会場にて

会費 3000円

主催 医療九条の会・北海道

協賛 福島の子どもたちを守る会・北海道